



上ナルセ養蜂場の成瀬一軌さん潤姫さん夫妻

下昭和40年代当時は一升瓶で蜂蜜を販売



## 蜂蜜 多彩な風味 ナルセ養蜂場

ナルセ養蜂場（札内新北町）は、国産蜂蜜を専門に販売する。代表的なアカシア、クローバーの他、ソバ、ミカンなどさまざまな樹木から採れる蜂蜜をそろえ、試食もできる。

店の起源は現代表の成瀬光昭さん（58）の父が、鹿児島県で養蜂を始めた1934年。養蜂は花の咲く季節に合わせ全国を移動する仕事で、夏は北海道で蜂蜜を探っていた。

63年、拠点のあった幕別で直営店

を開店。69年に販売に専念し、86年に改築して現店舗となった。

3代目の一軌さん（32）は5年ほど養蜂を修業し、現在も夏場は養蜂家の手伝いで道内を回る。一軌さんは「国産蜂蜜は希少。販売で若手養蜂家を応援したい」と語る。

妻潤姫（ゆに）さん（33）とは養蜂修業中に出会った。潤姫さんは岐阜大でミツバチの花粉交配を学んだほど蜂蜜好きで、店舗では詳しく解説してくれる。ネット販売にも力を入れるが試食は店舗のみ。「風味の違いを味わって」と話す。（眞尾敦）

水曜定休。午前9時～午後6時。

☎0155・56・2302